

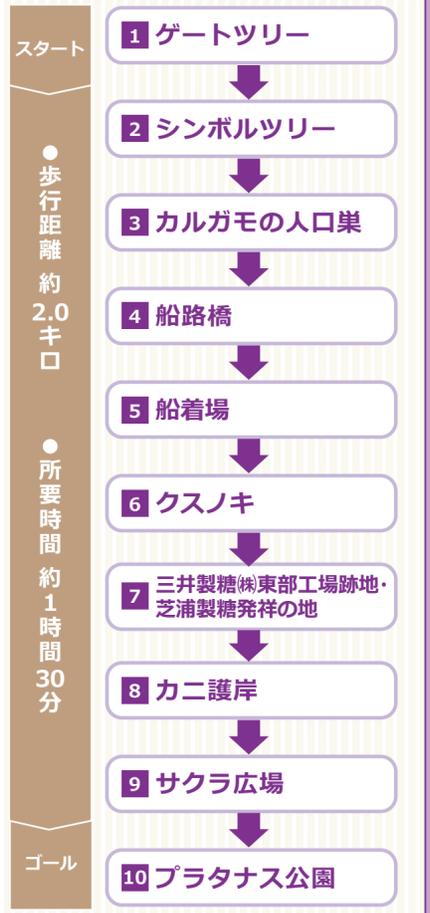
べいあっぷ グリーン マップ

街路樹と運河めぐり



企画 港区ベイエリア・パワーアッププロジェクト
みどりのあるまちづくり分科会
発行 港区芝浦港南地区総合支所まちづくり課
〒105-8516 東京都港区芝浦一丁目16番1号
TEL:03-6400-0017 FAX:03-5445-4590
発行年月:令和6年(2024年)3月 刊行物発行番号:2028208-2465

水と緑の島 芝浦アイランドルート



見られる植物



おすすめビューポイント

● **歴史と特徴**
芝浦アイランドは四方を運河に囲まれた周囲1.4キロの島状の場所。明治に行われた隅田川河口改良工事による埋め立て造成に端を発し、都心で区画の大きい土地が確保できたことから三井製糖の工場や都電の車両工場等が建てられました。2000年に入り宅地として脚光を浴び都心居住政策モデル地区全国第1号の指定を受け再開発され「水と緑の島」へ生まれかわりました。潮風に強い植物が多いのが特徴です。

● **カルガモの人口巣**
埋め立てで護岸になったことから、激減したカルガモを呼び戻そうと平成19年に区民参加組織の一つであるカルガモプロジェクトが発足し人口巣(浮巢)を設置したところ、その翌年の平成20年5月にヒナが誕生しました。巣上での植物は河口に自生している植物を移植したものです。

● **プラタナス公園**
芝浦アイランドが開発される際に、北側護岸脇に育っていたプラタナスを歴史を見つけた証として移植されました。大正後期の埋め立て時に植えられたものと推定され樹齢は約100年。移植には台のクレーン車が使われ約2千万円がかかったと言われています。プラタナスは大気汚染や剪定に強く発根性もよいことから移植が容易で街路樹に多く植えられています。



歴史と緑を感じる 芝浦運河北エリアルート



見られる植物



おすすめビューポイント

● **メタセコイヤの並木**
国内で化石として発見され、数千年前(白亜紀～古代3紀)に栄えた後絶滅したと発表されましたが、1946年中国西部の揚子江支流の山村で自生していることが確認され生きていた化石として有名になりました。「メタセコイヤ」とは「絶滅した後になって発見された杉」という意味です。

● **リバーサイドトリオ**
新芝運河沿緑地のベンチに座って楽器を奏でている3体のモニュメント。彫刻家・黒川明彦氏の作品(1992年)。人が参加することで作品が完成する造りになっています。夕暮れになるとガス灯も点灯し、さらにドラマティックな雰囲気。SNS映えを狙うなら夕方から夜にかけての散策もおすすめです。

● **重箱堀**
明治時代には、重箱堀はまだ海の中で当時はこのあたりに都内で初めての海水浴場がありました。開設したのは鐘ヶ江清朝(かねがえせいちょう)という蘭方医。当時の海水浴はレジャーではなく、病気療養や健康増進を目的としたものでした。大正2年に作られた石積護岸で、四角い形をしていることから重箱堀と呼ばれるようになりました。



花が溢れる新芝運河ルート



見られる植物



おすすめビューポイント

● **花と運河**
60種類以上の花が見られ、運河の水面が穏やかな時にはみどりが鏡のように映り、花と運河の散策が楽しめるコースです。多くの花が年を通して咲いていますが、季節により見られない花もあり、何度か時期を変えての散策がおすすめです。

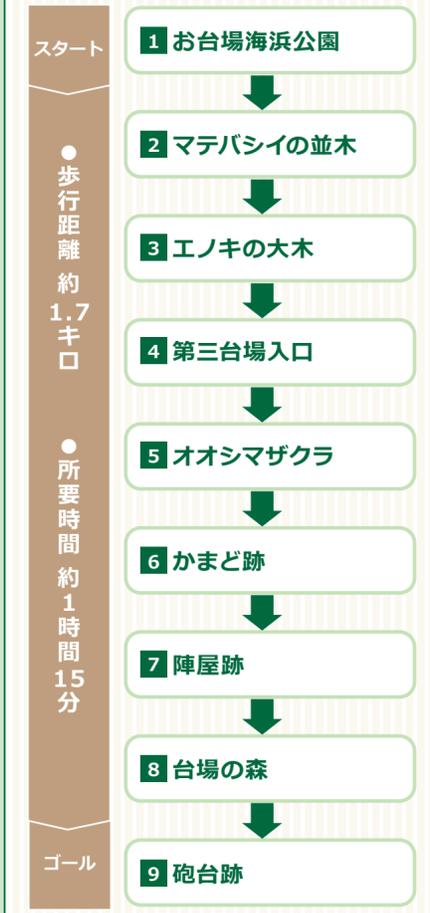
● **シコンノボタン**
ブラジル原産の植物でこちらに植えられているのはコートダジュールという品種です。花期は7～11月と長く、一日花ですが、次から次へ咲き途切れることはありません。運河沿いに並木のように植えられているのは圧巻です。

● **バラ園**
区の花であるバラが植えられていて、約40種類もの見事な花と香りが堪能できます。見ごろは5月中旬と10月中旬。

● **公園開園時間**
5月～9月:6時から19時まで、それ以外の期間:7時から17時まで



第三台場の緑をめぐるルート



見られる植物



おすすめビューポイント

● **台場公園(第三台場)**
お台場海浜公園の砂浜沿いを北側に歩いていくと、昭和3年に国の史跡に指定された、台場公園に繋がります。台場公園の中にはかまど跡、砲台跡など歴史を感じることが出来ます。

● **第六台場**
今でも海上にあり、立ち入り禁止になっています。そのため、植物や野鳥の宝庫となっており、学術的にも貴重な存在と言われています。



街路樹をめぐる芝浦ルート



見られる植物



おすすめビューポイント

● **ソメイヨシノ 街路樹としては欠点だらけの樹木**
葉が虫に食われやすい、剪定時に菌が入りやすい、横に広がりやすい、根が踏みつけに弱い、根が路面を持ち上げる...など、街路樹としては欠点だらけの樹木。それでも灼爛たる花が一斉に咲く魅力が勝り、人間にとって春を共有させてくれる木であるため、街路樹に選ばれています。

● **街路樹ランキング(令和4年3月31日国交省調査)**

1位 イチョウ	2位 サクラ	3位 ケヤキ	4位 ハナミズキ	5位 トウカエデ
------------	-----------	-----------	-------------	-------------



べいあっぷ グリーンマリア

街路樹と運河めぐり

凡例

- A ~ L** 港区みどりの街づくり賞受賞地
 - 街路樹**
 - アオギリ
 - イチヨウ
 - イタエンジュ
 - オリーブ
 - クスノキ
 - クロガネモチ
 - クヤキ
 - コナシ
 - サクラ
 - シマトリネコ
 - シラカシ
 - タブノキ
 - トウカエデ
 - ナンキンハゼ
 - ハナミズキ
 - ホルトノキ
 - マフバシイ
 - メタセコイア
 - ヤマモモ
 - ユリノキ
 - レッドオーク
 - その他
- ※このマップは芝浦港南地区の街路樹をメインに作成したものです。

- ### 芝浦港南地区で見られる街路樹
- アオギリ
 - イチヨウ
 - イタエンジュ
 - オリーブ
 - クスノキ
 - クロガネモチ
 - クヤキ
 - コナシ
 - サクラ
 - シマトリネコ
 - シラカシ
 - タブノキ
 - トウカエデ
 - ナンキンハゼ
 - ハナミズキ
 - ホルトノキ
 - マフバシイ
 - メタセコイア
 - ヤマモモ
 - ユリノキ
 - レッドオーク



港区みどりの街づくり賞

- 「港区みどりの街づくり賞」は、環境への配慮と優れた緑化計画を行い、その緑地を維持している区民や事業者の皆さんの緑化施設を表彰しているものです。
- | 受賞年・受賞地 | 概要 |
|---|--|
| A 令和3年度
HI-NODE TOKYO HINODE PIER | トリビカル系の植物を主に取り入れ、幼木に比べて常緑性や冬景色を演出し、周囲の緑化計画と調和を図ることで、四季を通じて美しい街並みを実現している。 |
| B 平成29年度
GLOBAL FRONT TOWER | 高木や壁面緑化など様々な緑化を施すことによる、にぎわいのある緑のネットワークを構築。 |
| C 平成28年度
オアセ芝浦 | 海岸エリアを通して樹木、花水、果の成る樹々、四季を通じて愉しめる緑化。 |
| D 平成26年度
品川シーズテラス | 台地と臨海の境界にある立地を生かし、自然生態系の中継点として機能しうる緑化計画。 |
| E 平成26年度
港南ビル | 隣接地との間に遊歩道を設け、四季の移ろいを楽しめる花木や草花の植栽を施すなど、近隣の方からも親しまれる緑化計画。 |
| F 平成24年度
品川フロントビル | 東西南北それぞれの植栽にテーマ性を持たせ、変化に富んだ緑化空間を演出。 |

- | 受賞年・受賞地 | 概要 |
|--|---|
| G 平成22年度
芝浦ルネサイト | 3つの街区を一体的に計画し、整備することで、臨海部の広大な空間スケールに呼応した連続性が感じられる緑地を形成。 |
| H 平成22年度
品川サンケイビル | 天井と床の間の間のスパンにトリクル部に植栽された建物西側の壁面緑化が目を引くデザイン。 |
| I 平成21年度
キャピタルマークタワー | 地帯特性を考慮した多種多様な樹木に加え、水や石を用いた斬新なデザインで、上層から下層へと溢れ出ている。 |
| J 平成19年度
パークタワー品川 | 隣接する運河沿緑地と一体として、港南の魅力あるランドスケープが演出。 |
| K 平成18年度
コスモポリス品川 | 建物を囲うように配置されている開放空間には、1年を通して楽しめる樹木がバランス良く配置。 |
| L 平成17年度
ピュロ一品川 | 花や紅葉の美しい樹種をふんだんに取り入れ、緑の量だけでなく、香りや色合いなど、五感による豊かな空間を演出。 |
| M 平成16年度
品川ランドコムズ及び品川セントラルガーデン | クス、シラカシ、カシラなどやさしいみどりの常緑樹を主体に、豊かな樹林を演出。 |

台場エリア

